



NIPPON BEARING

2月26日付 日本経済新聞広告 回答と解説

【問題】 摩擦をコントロールしているスポーツは？

- ① スキー ② 棒高跳び ③ ラグビー

【答え】 ① スキー

【解説】

正解は①のスキーです。

スキーは、雪面と板の間の摩擦を減らす（コントロールする）ことで滑るスポーツです。

冬を代表するスポーツの一つであるスキー、その歴史は古く、紀元前より狩りの際に雪上を移動する手段として使われていました。

紀元前 2500 年頃のノルウェーの壁画には、スキーを履いて狩りをする人々の絵が描かれています。

スポーツとしてのスキー競技は、1800 年代に入ってから確立していきます。

北欧のスカンジナビア地方で誕生したノルディックスキーは、1860 年代にはスキー板と靴を固定する器具が考案され、近代ノルディックスキーがスタートしました。

その後 20 世紀に入ると、ヨーロッパのアルプス地方ではアルペンスキーが発展していきます。

日本で最初にスキーが伝来したのは 1911 年（明治 44 年）、オーストリアのレルヒ少佐が、現在の新潟県上越市でスキーを教えたことが始まりと言われています。

選択肢②の棒高跳びは、棒（ポール）の反発力を利用して飛ぶ高さを競う競技です。

ポールの材質の向上により、近年大幅に記録が伸びています。

選択肢③のラグビーは、楕円形のボールをゴールまで運び得点を競うスポーツです。

ボールを運ぶ手段は、持ったまま走る・投げる・蹴って飛ばすなど様々です。

『摩擦を減らして滑るスキー』と『摩擦を減らすベアリング』、どちらも摩擦をコントロールして動くという共通点を持っていました。

そして、スキー板を調整するチューンナップマシンには、機械を精度よく滑らかに動かすために直動ベアリングが使用されています。

スキーと直動ベアリング、意外な共通点があったのですね。

【企画・協力：㈱学研エデュケーショナル】